

自立する社会生活

「就労継続支援A型事業所」とは
NPO法人あすなろは、2012年4月に長崎県「就労継続支援A型事業所」に指定されました。障がい者自立支援法に基づく就労継続支援のための施設です。
一般企業への就職が困難な障がい者に就労機会を提供、生産活動を通じてその知識と能力の向上に必要な訓練などの、障がい福祉サービスを供与することを目的にしています。
障がい者と雇用契約を結び、最低賃金を保障する仕組みの“雇用型”です。
長崎市で3番目に認定された「A型事業所」です。

働くところ

《就労者の声》

入社6カ月のAさん（42歳）の担当業務は、パン作りのベテランと組んで整形（パン生地を整える）を担当。

就業時間は6:30から12:30まで。仕事の感想は「仕事が終わったら仲間とカラオケに行ったりするのが楽しい。」

入社4カ月のBさん（31歳）は調理補助と二人チームを組んで高校の昼食タイムでの配達、販売を担当。

就業時間は11:00から15:00まで。「幼稚園の頃パン屋さんになりたかったので楽しい。」目標は「食パンがもっと売れてほしい。」

ひとつのパンがつなく

やさしいまちづくり

地域とのかかわりを大切に、一般のお客様、従業員とその家族の皆さんと一緒に集う、心とむあたたかなぬくもりもある楽しい『あすなろハートフル・コンサート』を開催します。

愛されるパン屋

NPO法人あすなろが運営する「ワークショップ・ベーカリーあすなろ」は、障がいを持った人たちとスタッフが一緒に働いています。朝4時からお店の工房でパン作りが始まります。

あすなろのパンは一つとして同じ形がありません。ちょっと不揃いですが、でも、みんな心をこめてひとつひとつ焼き上げた手作りパンです。

■店頭販売（常時40種類）

・調理パン・菓子パン・食パン・焼き菓子

■高校昼食販売

・長崎東高校・長崎西高校・長崎商業高校・長崎工業高校・長崎南山高校

■給食

・道ノ尾病院・住吉保育園

■販売

・はあと屋・JA長崎

■イベント出店

・長崎居留地まつり・ながさきプロボノフェア



ごあいさつ

いつもベーカリーあすなろのパンを買っていただきまして、ありがとうございます。

平成24年4月から長崎県の「障がい福祉サービス事業所」としてスタートしました。

障がいのある15名の人たちの経済的自立を6名のスタッフで支援しています。

福祉とビジネスが融合した「ソーシャルビジネス」をめざしています。

特定非営利活動法人 あすなろ
担当理事 重枝 喜明

- 2001年4月、小規模作業所として障がい児(者)の日中活動のためのワークショップ・ベーカリーあすなろを運営。
- 2007年5月、NPO法人として認証される。
- 2012年4月、長崎県「就労継続支援A型事業所」に指定される。

三つの大切なおもい

1

障がい者の就労の場づくり

- ・雇用契約で最低賃金を保障します。
- ・自立する社会生活の確保をめざします。

2

ソーシャルビジネスの基盤づくり

- ・心をこめておいしいパン作りをめざします。

3

地域とのかかわりを大切に

- ・いつまでも愛されるまちのパン屋をめざします。

ワークショップ・ベーカリー あすなろ

営業時間 8:00 ~ 18:00 (日曜・祝日は休み)

〒852-8154 長崎市住吉町 5-14

TEL: 095-843-0235 FAX: 095-843-2235



*このリーフレットは、長崎県「新しい公共の場づくりのためのモデル事業」として『ながさきプロボノプロジェクト』あすなろ支援チームが作成しました。

【ながさきプロボノ協議会】 URL <http://probono.npo-nagasaki.jp>